

大府
かわら版

5月臨時会

バス拡充の請願を**否決**

代りに「市の施策の後押し」を決議

5月13日(火)に開かれた臨時市議会。議会の人事とともに、一般会計の補正予算等々や、ふれあいバスの拡充を求める市民の請願の可否、公共交通に関する決議、などが審議されました。今号では、結局否決・不採択となった「バス請願」の審議結果、議会人事の一部、について報告します。

市民の願いにこたえバス拡充を

請願採択求め賛成討論

日本共産党 久永かずえ市議



5月13日の臨時会で、日本共産党以外の議員は何も言わず黙って反対し、請願を不採択としました。日本共産党・久永市議が唯一討論に立ち、市民の請願採択をと強く求めました。(以下、討論抜粋)

名鉄南加木屋駅への乗り入れを

建設産業委員会で議論になった、南加木屋駅への乗り入れについて、バス停をどこに設置するのか?という趣旨の質問もあった。具体的には東海市と大府市で議論すべき内容ではあるが、今でも広い道路沿いに東海市のバス停が設置されているという。南加木屋駅の東側(大府市側)は、現在、市道の拡張や、駅前広場は令和9年、10年ごろまでに整備される予定。大府市として南加木屋駅への乗り入れを求め、調整していく良い時期である。

ふれあいバス東コースも豊明市の前後駅へ乗り入れられ、藤田医科大学

学病院へのアクセスができています。名鉄南加木屋駅へ乗り入れできれば、1駅(1、2分)で公立西知多総合病院につながる加木屋中の池駅へ行くことができる。森岡町、米田町などに住む市民の利便性が高まることは間違いない。

移動手段の確保は命と日々の暮らしを守るために必要不可欠なライフライン。「動く公共施設」とも言われている公共交通については公の責任で充実していく必要がある。

以上の理由で、「ふれあいバスの増車と停留所を増やし利便性を求める請願について賛成する。」

(討論抜粋)

継続審議のすえに
市民の声は届かず

久永市議
ただ一人

請願採択を主張

「決議」にも賛成

「市の施策を後押しする」決議とは

久永議員が紹介議員となり令和6年12月議会に市民が提出した「ふれあいバスの増車と停留所を増やし利便性を求める請願」。「慎重に審議したい」として12月も今年3月も継続審議に。しかし3月議会が終わったばかりの3月24日に建設産業委員会は全員の反

▼3/24 建設産業委員会での「請願否決・不採択」の詳細は、「かわら版」4/20号No1428で詳しくお伝えしています。
↓こちらから



対で不採択にしました。親和クラブの委員が述べた反対理由は「公共交通の利便性を高めることについて見解の相違があるため」などというもの。5月臨時会で各会派・議員は市民の請願にどういった態度をとるのか、改めて注目されていました。結局不採択に。

「大府市の地域公共交通政策を後押ししていく意思の表明」決議。「市民のニーズを的確に把握し、限られた財源の中で持続可能な運行体制を維持しながら、より利便性の高い公共交通の実現を目指す本市の地域公共交通政策を引き続き後押しして」といくと述べています。久永市議も賛成しました。

前進面を評価

久永市議

久永議員は
総務委員会に

5月臨時会では例年、2年で交代する議長や副議長のほか、各議員が所属する委員会を決める議会の人事が行われます。今回、日本共産党・久永かずえ議員は、それまでの厚生文教委員会から総務委員会(委員7名)に所属が変更されました。詳細は次号でお知らせします。

議会宛の376名分の請願署名、同趣旨で141名の陳情書、市長への要望書25名を提出しましたが、建設産業委員会でも5月臨時会でも市民の「バスを増やしてほしい、停留所を増やしてほしい」という声が届かず残念でした。しかし、請願を提出し議論したことをきっかけに、議会の全会一致で大府市に対し「決議」が出されたことは大きな前進です。引き続き、ふれあいバスの増車を含む公共交通の充実に向けて活動していきます。

相談はお気軽に
声かけください



生活相談

日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

5月21日(水)午後6時～

無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話